



地域の復興に貢献する 石巻ブロック災害廃棄物処理業務 現場だより

鹿島・清水・西松・佐藤・飛島・竹中土木
・若築・橋本・遠藤 特定共同企業体
石巻ブロック災害廃棄物処理業務JV事務所
〒986-0841 石巻市雲雀野町2-15-3
TEL 0225-23-7701 FAX 0225-23-7707

2013年6月1日発行 第18号 (毎月1回発行)

5月22日、一般社団法人日本建設業連合会の中村満義会長（鹿島建設（株）社長）が、昨年の5月2日以来約一年ぶりに当現場を訪れ、災害廃棄物処理の進捗状況等についてのヒアリングが行われました。また、現場の職員に対し「年内の処理完了に向けて順調に進んでいると聞いている。建設業者を代表して、一日も早い被災地復興のために引き続き頑張ってください。」との激励の言葉をいただきました。

日本建設業連合会 中村会長来現



中村会長（写真左端）による激励の様子

生業復帰支援プログラムを実施

当JVでは、本業務への就業者のうち震災前の生業に将来就くことを希望している方々を対象とした「生業復帰支援プログラム」を、地元企業やNPO法人、ハローワーク、商工会議所等と連携して、各種支援や助成制度に関する講習会、相談会を定期的に開催するとともに、同プログラムの趣旨に基づく継続教育や職業訓練を企画・実施しております。

3月には復興支援制度等の「住宅ローン説明会」を、4月はビジネススキルの一つである「パソコン講習」（7月まで継続実施）と建設業関連資格取得のための「技能講習」を、5月には「再就職支援説明会」を開催いたしました。今後は当JVでは、希望者のニーズに沿った各種プログラムを実施してまいります。



技能講習（小型移動クレーン）の様子



再就職支援説明会の様子



ローン説明会の様子



パソコン講習の様子



縮尺1/1500（設備は1/1250のデフォルメモデル）

はたらく機械シリーズ 《番外編》 災害廃棄物中間処理施設見学者用ジオラマ

当施設内における災害廃棄物の処理フローを縮小模型と共に映像・音声にて説明する機械（う）です。当現場には現在までに4500名以上もの大変多くの方々に見学して頂いており、4月末の設置以来、見学者の方々に処理の流れがわかりやすいと好評を頂いております。

また当施設は廃棄物の処理完了とともに解体・撤去される予定ですが、精密な縮小模型を残すことにより、ここ雲雀野でどのようにして震災がれきを処理したのかということが将来に亘って形として残すことができます。

仙台市への搬出が終了



仙台市への積込・搬出の様子（最終日）



互理処理区での廃棄物受入れの様子

昨年7月27日から行われていた仙台市の仮設焼却炉（蒲生・荒浜・井戸）への可燃性廃棄物の搬出が5月末をもって完了いたしました。最終的に仙台市に受け入れて頂いたがれきの数量は5万137トンになりました。

また、互理処理区への可燃物・混合廃棄物の搬出も6月末に終了予定となっており、県内最大の処理量を抱える当石巻ブロックにおいても、今後はブロック内での処理を中心に、引き続き処理を進めてまいります。

—6月の主な予定—

- 6/3 安全大会、中間出来高検査
- 6/5 鹿島東北支店安全パトロール
- 6/7 技術提案事項中間評価会②
- 6/10 日本商工会議所視察
- 6/11 月命日法要
- 6/14 鹿島東北支店安全パトロール
- 6/15 第4回技術助言委員会
- 6/21 第3回ひばりのご縁市（定期市）
佐藤工業㈱職員組合視察
- 6/26 安全衛生委員会
- 6/27 暴排・災害防止協議会

①出身地 ②主な職歴 ③趣味・特技 ④抱負

JV職員紹介



機電Gr. 山本龍太郎



環境Gr. 古野 健

- ①愛知県岡崎市
- ②新入社員で初めての現場です。
- ③旅行、野球観戦、睡眠
- ④一年目から復興事業に携われることを大変誇りに思います。微力ながらも役に立てようという気持ちで頑張ります。また、初めの東北なので休日には観光スポットを巡りたいと思っています。

- ①愛知県豊川市
- ②土壌汚染調査・対策工事の技術営業、現場支援（入社以来5年間）
- ③バドミントン、最近の休日は専ら子どもをあやしています。
- ④初めての現場勤務となります。不慣れなことも多くご迷惑をおかけすることもありますが、石巻の復興に少しでも貢献できるような、精一杯業務に励みます。